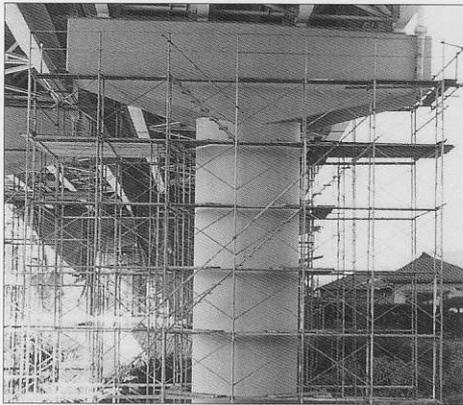


弾性エポキシ樹脂系塗装材



ボンドE480

●日本道路公団維持修繕要領・橋梁編・塗装材料による規格適合品

ボンドE480は、特殊変性エポキシ樹脂を主成分とする2液弾性型塗装材です。エポキシ樹脂本来の持つ性質（しゃ塩性、酸素ガス・炭酸ガス透過阻止性、接着性）を損なわず、ひび割れ追従性に優れ、コンクリート構造物の中塗り用塗装材に最適です。

■用途 コンクリート構造物の塩害補修：道路、鉄道等の壁高欄、橋脚等の塗装材（中塗り用）。
コンクリート、モルタルの中性化抑制塗装

■特長 耐水性：耐水性、耐アルカリ性、耐塩水性に優れます。
追従性：ひび割れ追従性に優れます。
接着性：プライマーとの併用により、コンクリート、モルタルに優れた接着性を示します。

■性状

項目	主 剤	硬 化 剤
主 成 分	特殊変性エポキシ樹脂	変性ポリアミン
外 観	灰色液体	淡黄色液体
粘 度	4500±1500mPa・s(23℃)	2500±500mPa・s(23℃)
混 合 比	主剤：硬化剤=5：1（質量比）	
可 使 時 間	約60分（20℃、500g）	

※性状は改良のため予告なしに変更する場合があります。

■使用方法

- 施工面は、ホコリや油などを取り除き乾燥させてください。
- E480の主剤と硬化剤を5：1（質量比）の混合比で計量し、十分に混合攪拌して使用してください。
- 一度に混合する量は、可使時間内に使いきれの量にしてください。
- 器具類に付着した樹脂は、硬化する前に有機溶剤でふき取ってください。
- 施工後24時間以上の養生が必要です。養生にあたっては、過度の振動、衝撃、水分などを与えないように注意してください。
- 低温時は硬化が著しく遅れます。原則として5℃以上の環境で使用してください。

■塗装仕様

（日本道路公団維持修繕要領・橋梁編・塗装材料に基づく）



工 程	使用材料	使用量 (kg/m ²)	施工方法	次工程までの 塗布間隔(20℃)
含浸プライマー	E200P	0.2	ローラー	3時間～3日
パテ層	E395	0.3	ゴムベラ、コテ	1日～3日
中塗り①	E480	0.2	ローラー	1日～3日
中塗り②	E480	0.2	ローラー	1日～3日
上塗り	UコートF	0.15	ローラー	—

■技術データ

1.日本道路公団維持修繕要領・橋梁編・塗装材料による試験結果

項目	試験条件	成績	日本道路公団塗装材料の規格	試験対象塗膜名
塗膜の外観	標準養生後	塗膜は均一で、流れ・むら・ふくれ・われ・はがれがない	塗膜は均一で、流れ・むら・ふくれ・われ・はがれのないこと	全体塗膜
	促進耐候性試験後	白垂化はなく、塗膜にふくれ・われ・はがれがない	白垂化はなく、塗膜にふくれ・われ・はがれのないこと	
	温冷繰返し試験後	塗膜にふくれ・われ・はがれがない	塗膜にふくれ・われ・はがれのないこと	
	耐アルカリ性試験後	同上	同上	
しゃ塩性	標準養生後	測定下限値 (0.8×10^{-3}) 以下	塗膜の塩素イオン透過量が $5.0 \times 10^{-3} \text{mg/cm}^2$ 以下であること	主材および仕上材
酸素透過阻止性	標準養生後	3.7×10^{-2}	塗膜の酸素透過量が $5.0 \times 10^{-3} \text{mg/cm}^2$ 以下であること	
水蒸気透過阻止性	標準養生後	0.8	塗膜の水蒸気透過量が 5.0mg/cm^2 以下であること	
中性化阻止性	中性化促進試験後	0.0	中性化深さが1mm以下であること	
コンクリートとの付着性		付着強度 (N/mm ²)	主な破断場所	塗膜とコンクリートの付着強度が 1.0N/mm^2 以上であること 全体塗膜
	標準養生後	2.34	基板破壊	
	促進耐候性試験後	2.49	基板破壊	
	温冷繰返し試験後	2.58	基板破壊	
ひび割れ追従性		伸び (mm)	判定方法	塗膜の伸びが 0.40mm 以上であること 主材および仕上材
	標準養生後 (常温時)	0.73	最大値	
	標準養生後 (低温時)	0.26	最大値	
	促進耐候性試験後 (常温時)	0.50	最大値	

※塗装仕様は前項による。

2.硬化樹脂の性能規格 (社内規格値)

項目	社内規格値	試験方法
比重	1.25 ± 0.05	JIS K 7112
伸び率 (%)	100以上	JIS K 7113

※養生：20±1℃で7日間養生後80℃で60分加熱 (建設省アル骨補修指針による) ※測定：20±1℃、65±5%RH

■梱包容量 ●E480：18kgセット (主剤：15kg、硬化剤：3kg)

■警告 引火性の液体です。有機溶剤中毒の恐れがあります。使用後も溶剤臭がなくなるまで換気してください。健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

注意事項：本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

1. 所定の用途以外には使用しない。
2. 作業場所には、局所換気装置を設ける。
3. 取り扱い中は皮フにふれないように注意し、保護具を着用する。
4. 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。
5. 作業衣などに付着した場合は、すみやかにその汚れをよく落とす。
6. 皮フに付着した場合はすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。
7. 蒸気などを吸い気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じ医師の診察を受ける。
8. 眼に入った場合は多量の水で洗い、必要に応じ医師の診察を受ける。
9. 保管条件：40℃以下。使用後密封。
10. 廃液は法令に従って処理すること。

※使用にあたっては、製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。(記載の性状等は2005年8月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系 (SI) による数値の換算は、 $1 \text{kgf} = 9.8 \text{N}$ 、 $1 \text{cP} = 1 \text{mPa} \cdot \text{s}$ 、 $1 \text{kgf} \cdot \text{cm} = 9.8 \times 10^{-2} \text{J}$ 、 $1 \text{MPa} = 1 \text{N/mm}^2$ です。
 1N/mm^2 は約 10.2kgf/cm^2 に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 ボンド事業本部 大阪本社/大阪市中央区平野町2-1-2 (沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06 (6228) 2961 FAX06 (6228) 2927
東京本社/東京都千代田区神田錦町2-3 (竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03 (5259) 5737 FAX03 (5259) 2144

名古屋支店 TEL052 (262) 8173 FAX052 (262) 8175 仙台営業所 TEL022 (211) 5031 FAX022 (211) 4990 金沢営業所 TEL076 (223) 1565 FAX076 (223) 4794
福岡支店 TEL092 (551) 1764 FAX092 (551) 1545 北関東営業所 TEL027 (324) 3002 FAX027 (324) 1187 広島営業所 TEL082 (507) 1911 FAX082 (507) 6676
札幌支店 TEL011 (612) 0211 FAX011 (612) 0219 南関東営業所 TEL046 (229) 9610 FAX046 (229) 9636 高松営業所 TEL087 (835) 2020 FAX087 (835) 4623

EテR08-03



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

E480

1999.1.3000(O)61-FD
2005.9.2000(T)54-FD